
2021年8月3日（火）発行

メルマガ～開示会計を学ぶ～ Vol. 77

株式会社スリー・シー・コンサルティング

- 1 会計ニュースダイジェスト（2021年7月）
- 2 会計基準の公表予定等
- 3 ワンポイント開示会計問題演習
「連結株主資本等変動計算書関係・連結キャッシュフロー計算書関係3」
- 4 児玉厚の開示川柳「再編で 計画開示は 加速する？」
- 5 編集後記

1 会計ニュースダイジェスト（2021年7月）

- 1) IFRS「保険契約」「金融商品」改正案公表（7月28日）
（意見募集期限：2021年9月27日）

<https://www.ifrs.org/news-and-events/news/2021/07/iasb-proposes-minor-amendment-ifrs-17-and-ifrs-9/>

- 2) IFRS、子会社に開示の削減を認める提案（7月26日）
（意見募集期限：2022年1月31日）

<https://www.ifrs.org/news-and-events/news/2021/07/iasb-proposes-reduced-disclosure-requirements-for-subsidiaries/>

- 3) 株懇、定款・招集通知モデルを改正（7月26日）

<http://www.kabukon.net/new/index.html>

- 4) 投資信託等時価開示の財規等改正案公表（7月7日）
（意見募集期限：2021年8月6日）

<https://www.fsa.go.jp/news/r3/sonota/20210707.html>

2 会計基準の公表予定等

- ・先月公表された基準等については上記「会計ニュースダイジェスト」をご覧ください。(【 】は「会計ニュースダイジェスト」の番号)

1) IFRS (2021年12月までの公表予定)

(無印：確定 ED：公開草案 DP：ディスカッションペーパー
RI：情報要請)

(1) メンテナンスプロジェクト

- ・特約条項付きの債務の流動又は非流動への分類 (IAS 第1号改正)
: ED 2021年10-12月予定
- ・IFRS 第17号及びIFRS 第9号の最初の適用—比較情報 : ED 2021年7月済【1】
- ・サプライヤーファイナンスの取決め (IAS 第7号・IFRS 第7号改正)
: ED 2021年10-12月予定

(2) リサーチプロジェクト

- ・適用後レビュー (金融商品—分類と測定) : RI 2021年9月予定

(3) 基準設定プロジェクト

- ・開示上の取組み (SMEs である子会社) : ED 2021年7月済【2】
- ・ワークプラン
<https://www.ifrs.org/projects/work-plan/>
- ・IASB Update
<https://www.ifrs.org/news-and-events/updates/iasb/>

2) 日本基準

- ##### (1) 連結納税制度の見直しへの対応 (実務対応報告5・7号)
- : 2021年8月予定

- ##### (2) 金利指標改革に起因する会計上の問題 : 2021年10月頃検討予定

- ・現在開発中の会計基準に関する今後の計画 (更新 : 2021年6月17日)
<https://www.asb.or.jp/jp/project/plan.html>

3 ワンポイント開示会計問題演習

*メルマガ読者にのみ公開しています。

4 児玉厚の開示川柳

*児玉厚（株式会社スリー・シー・コンサルティング 代表取締役）による
「開示川柳」をお届けしております。

「再編で 計画開示は 加速する？」

2014年当時、こんな質問を受けた。

「児玉さんは2000年に日本初の法定開示書類の自動作成システムを開発し、
現在は宝印刷と共同開発している後継機の開示システムも
かなり広く上場会社等に普及しており、
開示の正確性と迅速性に貢献して来たと思います。
その先見性には感服しています。

ところで今後開示の世界はどの様になって行くとお考えでしょうか？」

児玉

「それは過大評価だと思います。

ご質問の点ですが、次の様に考えています。

投資家の関心の99%は過去ではなく、将来にあります。

『持続的な成長を図って行ける会社か否か』という点に
最大の関心を持っています。

今でも、投資家は業績予想に高い関心を持っています。

また、実績の財務諸表には多くの予測概念が含まれています。

例えば、事業の将来キャッシュ・フローと事業資産の
簿価を比較して減損すべきか否かを判断しています。

今後は中期経営計画の計画値や次期業績予想の
正確性と迅速性が求められてくると考えます。

これから計画開示時代がやって来ると思っています。」

あれから、7年が経過している。

*続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

5 編集後記

*メルマガ読者にのみ公開しています。

〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 7 階
URL : <https://www.3cc.co.jp/>

Copyright (c) Three C Consulting Co., Ltd. All Rights Reserved.